



週間展望

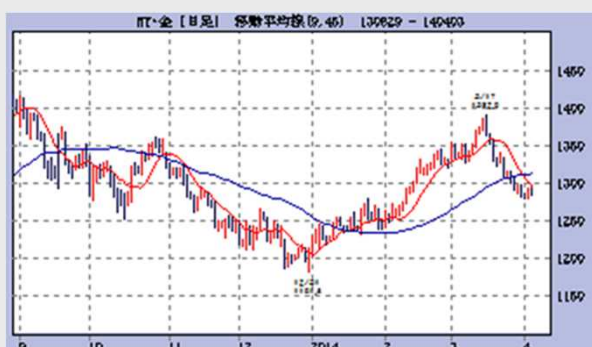
2014年4月7日の週

You can imagine the forecast of next week's futures market in only 5 minutes.

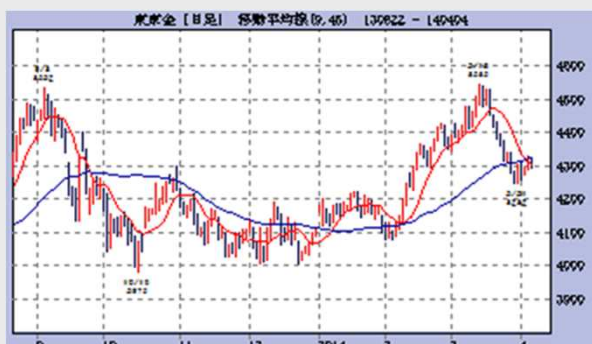
Precious Metals

発行日 2014年4月4日 (金)

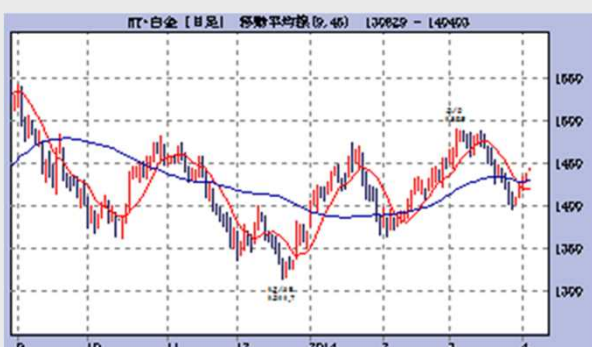
NY金チャート



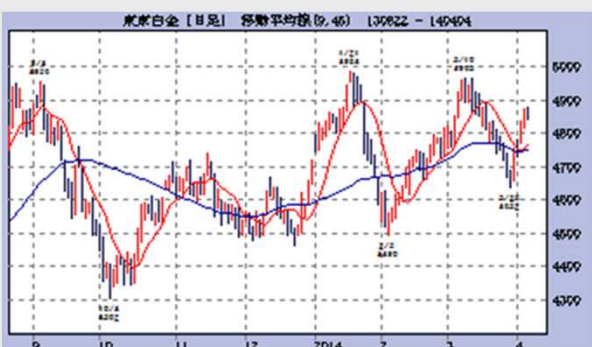
東京金チャート



NY白金チャート



東京白金チャート

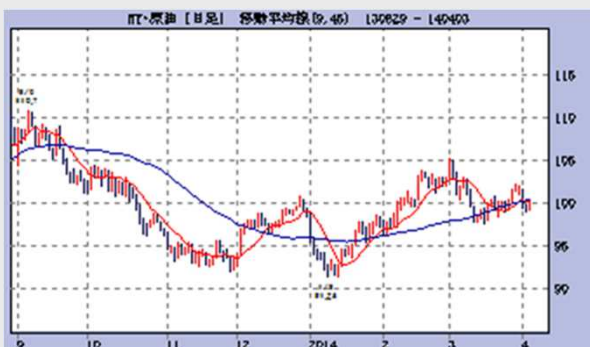


【金】イェレンFRB議長は3月19日のFOMC（連邦公開市場委員会）の後の記者会見で今秋に債券購入を終了し、その6ヶ月後には利上げを検討する流れを想定しているとコメントしたが、今週議長は高水準の長期間失業者数、低迷する賃金上昇率、増加するパート就業者、低位の労働参加率等を挙げて、米雇用市場は多大なる「Slackness」が存在しているとハト派ぶりを見せた。金融緩和は今後も続くと思われるが、当面は本日発表の労働指標が注目される。3月米雇用統計の事前予想は、非農業部門雇用者数が19万人増と、前月の17万5000人増を上回るとされている。中国5大銀行の決算によれば、不良債権処理額は590億元（約1兆円）と前年比127%増になったとFT紙は報じている。理財商品や社債だけでなく銀行にも信用拡大のツケが回っていることがわかる。ただ5大銀行の利益は前年比10%前後ペースダウンはしているがまだ健全な水準にあり不良債権比率も0.95%とわずかに上昇したに過ぎない。問題はこうした銀行発表のデータが信頼できるかどうかにかかっている。日本のバブル崩壊の時も金融機関はおしなべて粉飾決算を行っているため中国の数値が信用できるという保証はない。いずれどこかでほころびができれば、金価格上昇要因となるだろう。予想レンジNY金1270ドル～1350ドル 東京金4200円～4500円

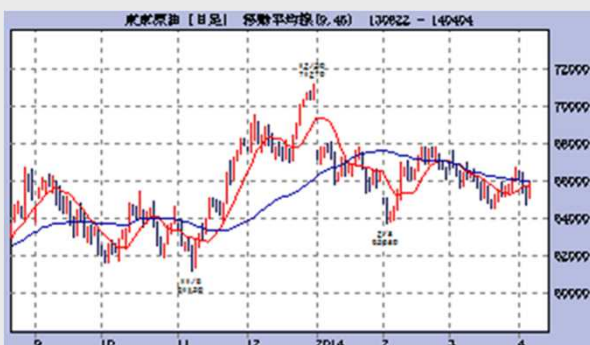
【プラチナ】アングロブラチナムとロンミン社は両社に対する納入業者に対して不可抗力条項を宣言した。ストライキはすでに74日、11週間に及び、解決の糸口は見えていないが、労働者側で不協和音が相当出始めているという。アングロアメリカン社はアングロブラチナム社を売却することも視野に入れるとしており、アングロブラチナム社は、ストライキが長引けば一部鉱山の操業そのものを停止するとも述べている。いずれにせよ、プラチナ供給量の減少につながることはばかりであり、プラチナの需給はますます引き締まったものになるのは間違いないだろう。金のETF残高は横ばいであるが、プラチナのETF残高は史上最高を更新し4月3日70.9トンとなっている。ここまでの大事態が起きていても、東京プラチナ価格はのんびりしていることは全く理解に苦しむことである。日本経済新聞記事によれば、中国ではトラックが触媒を装着せねば販売できなくなっており、それをかいくぐって触媒を一時的に取り付けて後で取り外す等のトラックがあることを報道しているが、これまで中国の自動車触媒向けプラチナ需要は中国プラチナ需要全体の5%に過ぎず、日本は56%、欧州は69%を占める。2月の中国のプラチナ輸入量は、6.8トンで前年同期比+3.3トンと倍増であった。予想レンジ NYプラチナ1420ドル～1500ドル 東京プラチナ 4700円～5000円

Oil

NY原油チャート



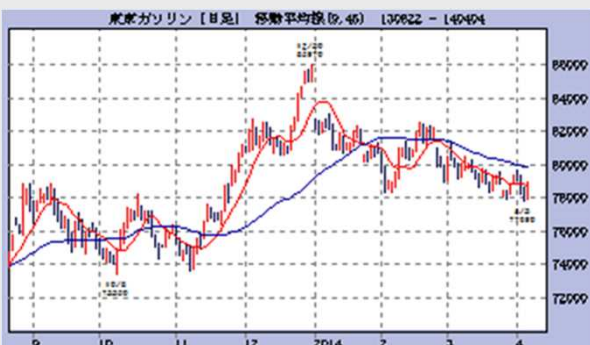
東京原油チャート



NYガソリンチャート



東京ガソリンチャート

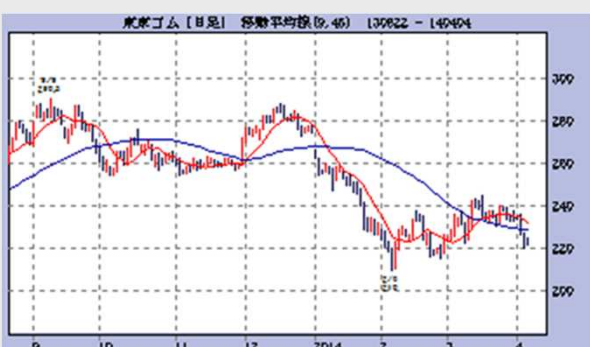


【原油】米国の3月のISM製造業景気指数は52.2から53.7へ改善している。自動車販売台数も前年同月比5.7%増と好調で年率換算では1640万台に達し、大雪の影響が薄れて需要が回復したことを物語っている。こうした景気回復のシグナルにより、米国株価が史上最高値更新しており、そのムードは原油価格にも影響して、NY原油価格は100ドル前後で推移している。需給的にはIEA（国際エネルギー機関）によれば、2014年の世界の原油需要は前年比日量+140万バレルであるのに対し、非OPEC諸国の供給は、日量+170万バレルであり、その分OPEC諸国は減産せねば需給はバランスしないが、OPEC諸国は、イラクの生産増強により前年比日量+50万バレルと増加している。イラクではロシアのルクオイルが75%を出資する世界最大の油田West Quma-2が日量40万バレルの生産となっているが、今年の年末までには日量400万バレルに増産される見込みである。これ以外に英国BPが開発しているRumaila油田、ExxonとZubairが開発しEniが2010年から操業しているWest Quma-1油田等の新規油田があり、2014年の生産量は日量400万バレルである。世界の原油生産は米国やカナダばかりでなく、中東や南米でも増産されており、シティーバンクは原油価格は将来75ドルになると述べている。なお短期的には、米国や日本等で石油精製設備の定期修理の時期に入る。予想レンジ NY原油価格 95ドル～105ドル 東京原油価格 64000円～67000円

【ガソリン】3月28日までの米国の石油週報によれば、米国の原油在庫は、前週比▲237万バレル減少したが、これはWTI原油の保管場所のオクラホマ州クッシングからメキシコ湾へのパイプライン輸送が本格化したことで、南部に在庫が移ったことを示しているにすぎない。ガソリン在庫は▲157万バレル減少し、これは6週連続の減少となった。留出油は+55万バレル増である。石油製品出荷量は、ガソリンは前週比▲28万バレル減、留出油は+31万バレル増であった。過去5年平均比では石油製品は▲4.0%低い水準、ガソリンは▲3.5%低い水準、留出油は+1.1%多い水準である。日本の石油連盟から発表された3月29日現在の石油製品供給速報によると、実稼働率は88.5%で前週と比べて1.7%減少している。ガソリン生産は前週対比、前年対比ともに増加している。このため在庫も増加しているものの例年と比較すると大幅な低水準の在庫である。定期修理を控えていることもあり積み増しを開始しているとみられる。例年よりも大規模な定修だけに在庫が増加に転じたとはいえ供給タイト状態には変化はない。予想レンジ NYガソリン価格 2.8ドル～3.0ドル、東京ガソリン価格76000円～80000円。

Rubber

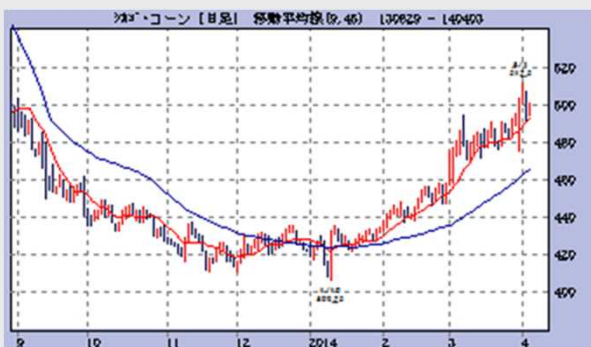
東京天然ゴムチャート



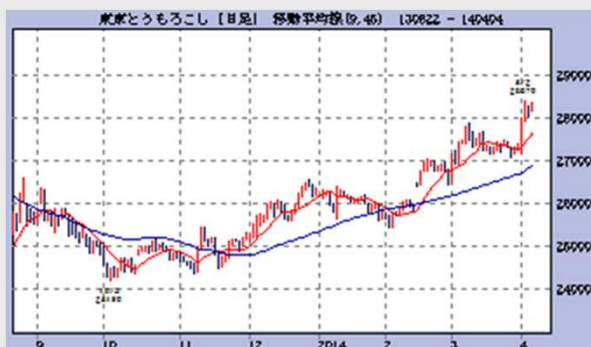
【天然ゴム】東京ゴム価格は220円まで急落した。上海ゴム価格は小幅安にとどまっているが東京市場では2月下旬以来の安値を更新している。産地では集荷量が極度に少なくなっており、減産期のピークとなっている。対中央ゴム市場の未燻製シート（USS）の集荷量がゼロとなる日もあり、当面は供給サイドから需給引き締め圧力があると思われる。気象庁によれば、今年の夏はエルニーニョが発生する確率が高いというため、減産期が長期化する恐れもある。弱気要因の一つはタイ政府が在庫売却を検討していることである。タイ国内の過剰在庫が天然ゴム価格低迷の原因として市況対策の観点から在庫水準を引き上げることを検討している。ただ、消費地の在庫が過剰であることはあっても産地の在庫を放出してもあまり意味がないとの声もあられる。反発するか。予想レンジ 東京ゴム価格 220円～240円

Grain

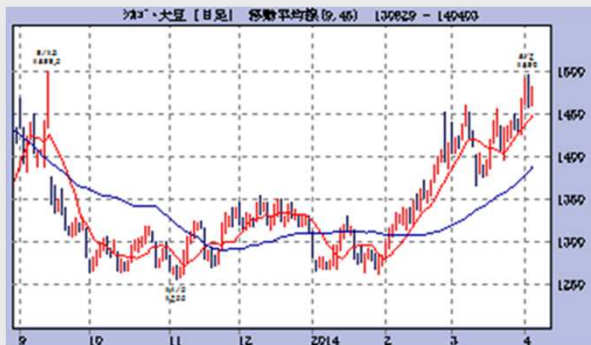
シカゴコーンチャート



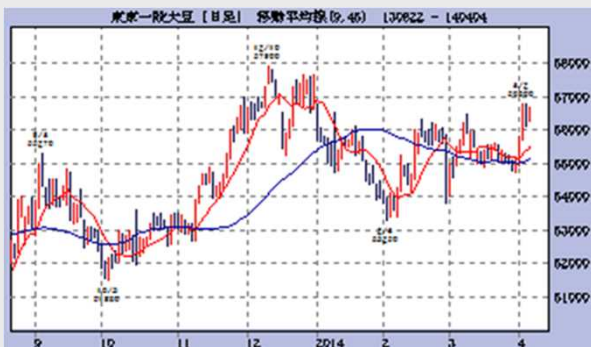
東京コーンチャート



シカゴ大豆チャート



東京一般大豆チャート

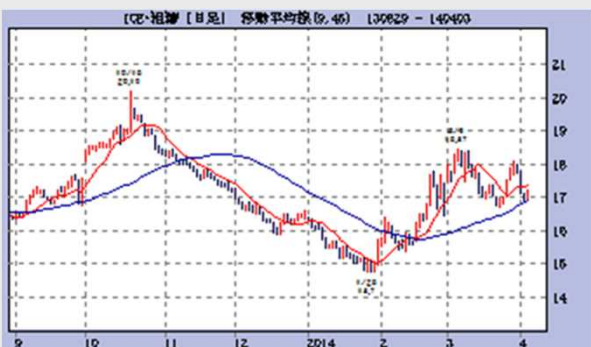


【トウモロコシ】米国農務省から3月31日公表された作付け意向面積はトウモロコシが前年比▲3.9%減と予想の▲2.6%よりも多く、大豆は+6.15%増と予想の+6.1%とほぼ同じであった。小麦は▲0.7%減（予想は▲0.8%減）であった。これによりトウモロコシ価格が500セントを超えて急騰したが、翌日反落している。四半期在庫は、市場予測の71.10億ブッシェルに対して70.05億ブッシェルで需要が増加していることを表している。まだ在庫は十分あるため、需給にひっ迫感はないが、輸出成約残高が3月20日までに前年同期比+320万トン増の460万トンで、1.4倍となっており過去5年平均の456万トンよりも1%多い水準である。そのため、今後も強含むことが予想されるが、やはり天候次第であろう。意向面積通りの作付が行われ、天候に恵まれれば在庫は増加する方向となるため、価格はそれほど上がらないだろう。 予想レンジ シカゴトウモロコシ価格 490セント～510セント 東京トウモロコシ価格 27000円～29000円

【大豆】シカゴ大豆価格は1450セント～1500セント水準まで切り上がっている。四半期在庫は9.92億ブッシェルと市場予測の9.89億ブッシェルより少し多かったが、概ね予想範囲であった。ただ、水準的には昨年並みであり、過去のどの年度よりも少ない状況にあるので、タイト感是否めない。それはすでに価格に織り込み済みとしても、今後輸出等の需要が膨らめば、期末在庫は非常に少ない状況に陥り、秋の収穫までもつかという状況が考えられる。中国は、3月20日までの今期に268万トンを成約し、昨年の205万トンの1.3倍となっている。今後南米からの輸入が一段落すると、更に米国産大豆を購入するか、あるいは中国内の大豆油の供給過剰のために輸入成約をキャンセルする動きを採るかが注目される。3月20日までの米国産大豆の全輸出成約高は昨年度の2倍となっている。昨年と同じような期末在庫率であっても、今年は輸出需要が旺盛な分だけタイト感強い。今後作付けから夏場の受粉期の天候がどうなるかが、大豆価格を大きく揺さぶる可能性がある。 予想レンジ シカゴ大豆価格 1400セント～1550セント 東京一般大豆価格 54000円～58000円

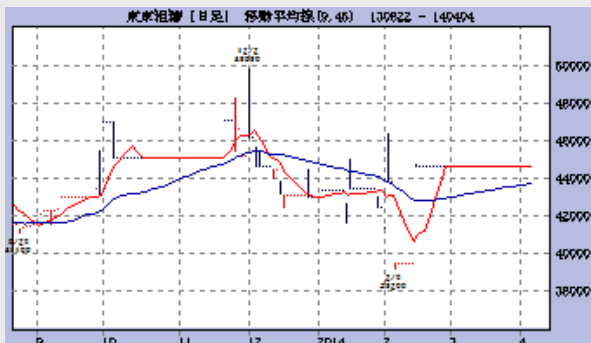
Sugar

NY砂糖チャート



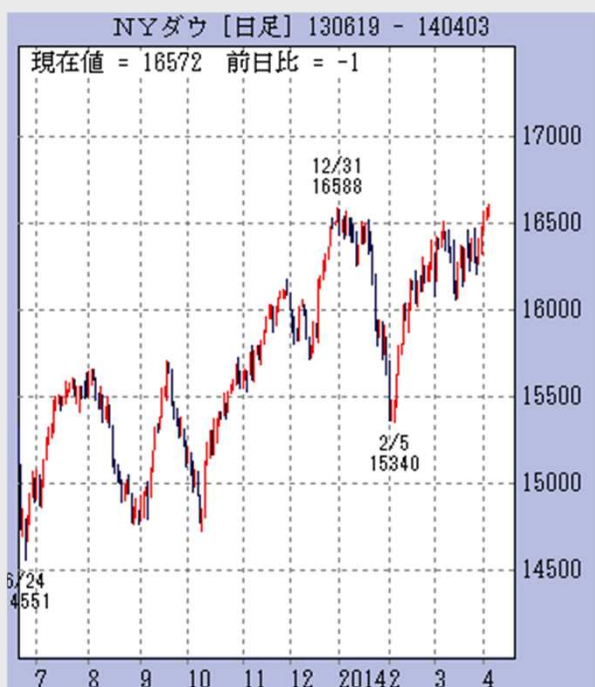
【砂糖】NY砂糖価格は16銭との半ばから18セントまでの間を往復している。上げ要因はブラジルでサトウキビ産地が干ばつに見舞われたことであり、どの程度の影響があったのかは未だ不明確であるが、前年比▲150万トン程度の減産になると思われる。すでに降雨があり、干ばつは解消しているため、今後再び価格が上昇する雰囲気にはない。世界的な供給過剰が背景にあるため、上値は重いと思われる。

東京粗糖チャート



【砂糖】 予想レンジ NY砂糖価格 16セント～18セント

Sidebar



【 NYダウ平均株価 】

4月3日のNYダウ平均株価は、16572ドルとなり、昨年12月31日の過去最高高値16588ドルに近づいている。

3日のニューヨーク株式市場は、ヨーロッパ中央銀行のドラギ総裁が、今後、一層の金融緩和に踏み切る可能性があることを示唆したことでヨーロッパ経済が下支えされるという期待が広がり買い注文が出た。

このためダウ平均株価は一時、1万6604ドル15セントをつけおよそ3か月ぶりに取り引き時間中の最高値を更新した。

その後は4日のアメリカの雇用統計の発表を前にひとまず様子をみようとして売り注文も出て、結局、ダウ平均株価の終値は前日より45セント安い、1万6572ドル55セントとなった。

市場関係者は「4日に発表されるアメリカの雇用統計で雇用情勢が改善するかどうかは株価に大きく影響するだろう」と話している。(NHK)

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかなを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



COMMODITY
INTELLIGENCE

株式会社コモディティー インテリジェンス

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

メールアドレス： kondo@commi.cc

発行元：